

介護福祉士 チームリーダー 研修

実践



指導



マネジメント



やりがいがあって働きやすい介護の職場づくりの
☆ **要** となる ☆ チームリーダーが集まって学びあう
研修プログラムが出来ました



チームリーダー研修が生まれた背景



介護福祉士への期待

- ◆ 介護の職場では、培ってきたスキルや経験、働き方が異なる様々な介護スタッフが働いています。
- ◆ その中で利用者により良いケアを提供するとともに、介護スタッフがやりがいや働きやすさを感じられる職場を作るには、介護スタッフが協働しあって「チーム」としてケアを行うことが大切です。
- ◆ チームはスタッフが単に集まるだけでは出来ません。介護職チームがうまく機能するためには、介護の実践力、専門知識やそれに基づく判断力、技術を備えた**介護福祉士がチームリーダーの役割**を担うことが期待されています。



チームリーダーの成長を応援する仕組みの強化

- ◆ ただしリーダー業務は、利用者に対するケアとは異なるスキルや視点が求められ、任命された瞬間から完璧に出来るとは限りません。
- ◆ 介護福祉士が**チームリーダーとして成長していく過程を応援**するため、日本介護福祉士会では生涯研修体系を整備しています。
- ◆ 新任リーダーになる手前に受講する「ファーストステップ研修」と、地域マネジメントを実践するリーダーが受講する「認定介護福祉士養成研修」は各地域で開催されていますが、今回、**リーダーとして成長する段階で受講する「チームリーダー研修」**のプログラムが完成しました。

<日本介護福祉士会の生涯研修体系>

チームリーダーの指導者、地域マネジメントを実践するリーダーとしての成長





研修のねらい

チームリーダーに必要な3つの力を養います

チームリーダーには

- ①高度な知識・技術を有する介護の実践者としての役割
- ②介護技術の指導者としての役割
- ③介護職チーム内のサービスをマネジメントする役割

が期待されており、この研修はこれらの役割に関する知識・技術を習得するとともに、それを業務実践に活かし、振り返りを行う方法を習得することをねらいとしています。

リーダー（木）は
角度で見え方（役割）
が変わるんだ！



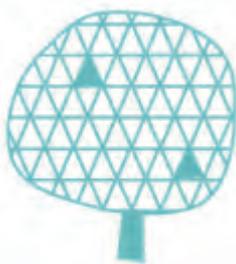
実践者の役割とは・・・



- ✓ 認知症の症状に応じた対応
- ✓ 医療やリハビリの必要性が高い方への対応
- ✓ 終末期の方に対する看取りを含めた対応
- ✓ 障害の特性に応じた対応
- ✓ 複合的な支援ニーズを抱える家族等への対応



指導者の役割とは・・・



- ✓ 介護職に対する能力開発
（介護技術の指導や助言）
- ✓ その能力を引き出す支援
（適切な業務・役割の配分やスーパーバイズ）



マネジメントの役割とは・・・



- ✓ 介護過程の展開における介護実践の管理
- ✓ チーム内の介護職のフォロー
- ✓ 様々な職種や機関からの利用者に関する
情報収集と情報共有



研修の特徴



職場実践を通じて学習内容を定着させます

- ◆ 事前課題で業務を振り返り、リーダーとしての成長に向けた課題を自覚できます。
- ◆ 研修の前半で学習したことを、「職場実践」として職場で実際に取り組み、研修最終日に振り返りを行うことで、深い学びを得られます。



演習を通じてコミュニケーション力が高まります

- ◆ 受講者自身の実践・指導・マネジメントの事例を用いるほか、実際のケアの様子を動画で提示し、実践的な議論を行います。
- ◆ ペア・グループワークを基本としたカリキュラムであり、チームメンバーなどとの円滑なコミュニケーションが求められるリーダーとしての「伝える力」を高めることができます。
- ◆ 他法人のリーダーや講師との学び合いや、職場実践を通じて、リーダーとしての視野の広がりともちベーションの向上を促します。



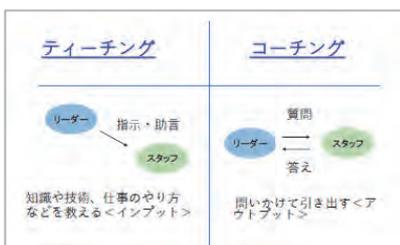
継続的な実践・学習につながります

- ◆ リーダー業務に活用できるワークシートや通信教材を提供し、研修後に学習内容を振り返ったり、業務に取り入れやすい工夫をしています。
- ◆ ファーストステップ研修などで学ぶ知識を再確認しながら、認定介護福祉士養成研修につながる内容が学べます。（リハビリテーション領域は認定介護福祉士養成研修の科目との読み替えができます）

<研修テキストイメージ>

<ワークシートイメージ>

<通信教材イメージ>



職場実践計画(2a) (基本的動作・姿勢の実践)

研修ID:

1.実践を行う場所 2.実践する日と時間

3.想定する研修者の人数

4.実践したいこと(その目的、留意点など)

◆ **学習目標**
介護福祉士として、生活支援に必要な運動生理を理解し、支援することができる力を育成する。

◆ **到達目標**

- ① 筋/骨/関節など運動器系や脳/脊髄/末梢神経など神経系の解剖/生理機能を理解し、支援に活用できる。
- ② 関節可動域や関節運動などヒトの基本的な動きを理解し、支援に活用できる。



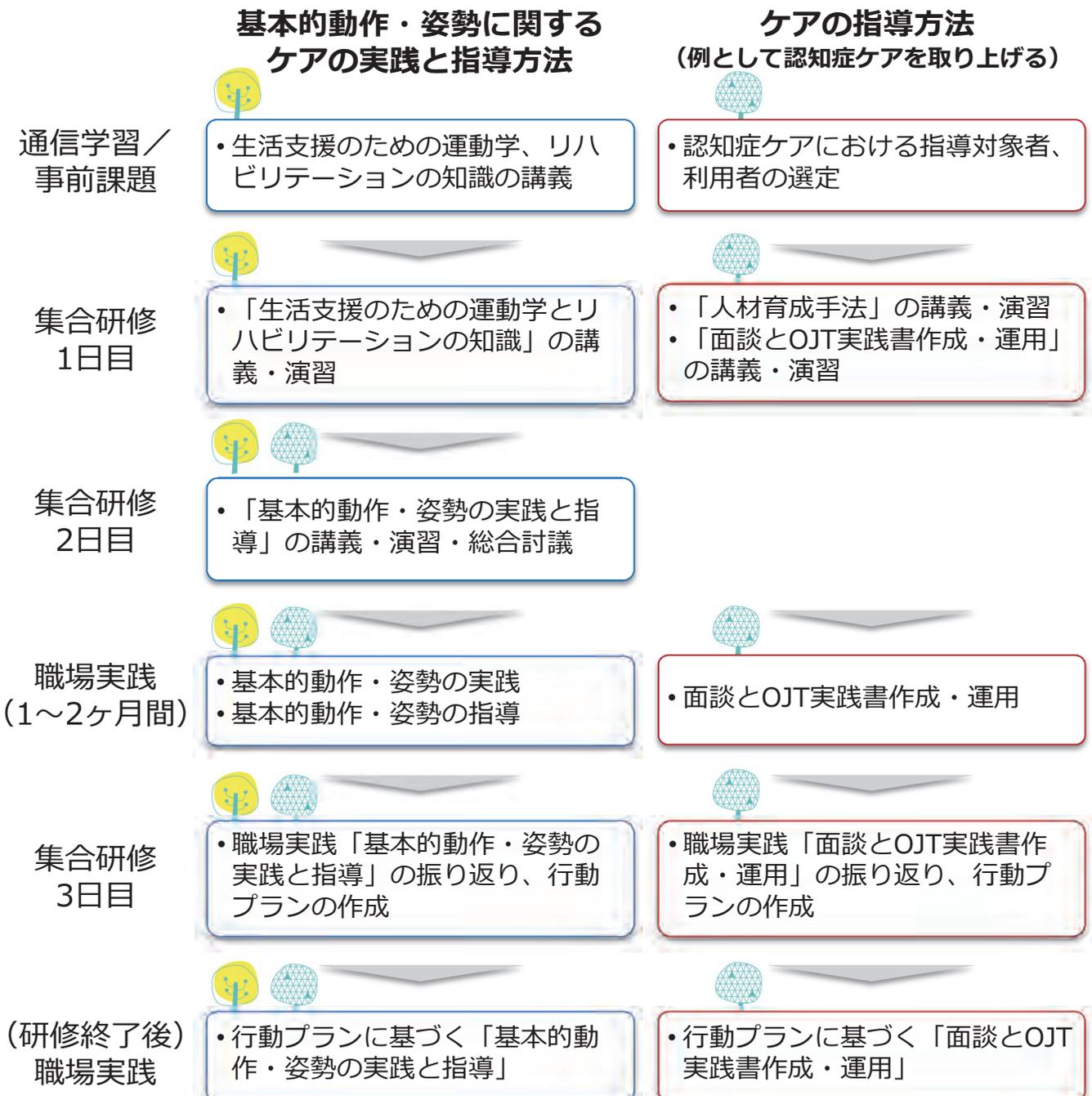


研修プログラム① 実践力&指導力の向上



カリキュラムの概要

- ◆ 医療やリハビリの必要性が高い、あるいは認知症の症状のある利用者に対して、障害特性を踏まえた対応を**根拠をもって実践**し、さらに初任の介護職に対して**根拠をもって指摘**する方法を習得します。
- ◆ 実践と指導を関連性を持たせて**一体的に学べる**点が特徴で、「疾患・障害等がある人への基本的動作・姿勢に関するケアの実践と指導方法」と「ケアの指導方法（例として認知症ケアを取り上げる）」の内容が含まれます。





研修プログラム② マネジメント力の向上



カリキュラムの概要

- ◆ 振り返りを通じてリーダーとしての成長課題とチームの課題に気づき、その解決に向けたチームマネジメント手法を習得します。

事前課題

- ・自己紹介&目標設定シートの作成

自己紹介と目標設定シート

氏名: _____

所属: _____

自己紹介: _____

リーダーとしての成長課題: _____

チームの課題: _____

研修1日目
(集合)

- ・講義①チームマネジメントとは？
- ・個人ワーク①私のチームづくりの振り返り
- ・グループワーク①私たちのチームづくりの振り返り
- ・講義②チームづくりのポイント
- ・グループワーク②改善点に関する相談会
- ・個人ワーク②行動プランの作成
- ・行動プランの発表

行動プラン

私のチームの目標 (こうなりたい) _____

私のチームの状況 _____

私のチームの課題 _____

私がメンバーとともに、これから2ヶ月間で取り組みたいこと _____

研修2日目
(個別面談)

- ・行動プランの振り返り
- ・意見交換
- ・まとめ (行動プランの改善)



行動プランに基づく
職場実践

研修3日目
(集合)

- ・個人ワーク①実践の振り返り
- ・全体共有①実践の共有
- ・個人ワーク②行動プラン案の作成
- ・グループワーク②行動プラン案に関する相談会
- ・個人ワーク③行動プランの完成・発表準備
- ・行動プラン発表会
- ・研修の振り返り



実践

(研修終了後)
職場実践



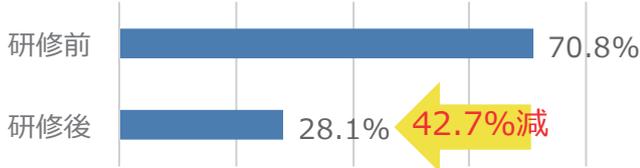
受講者の声

- ◆ モデル研修では、研修が進むにつれて、受講者のリーダーとしての自信の高まりが見られました。

リーダーとしての取り組みへの不安感 (モデル研修参加者32人の回答)

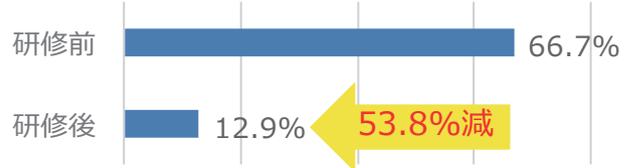
スタッフとの面談の機会を作り、
目標、強み・弱み、悩みを把握す

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



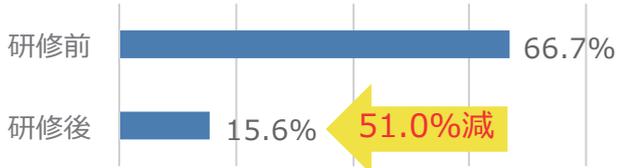
提案を実現するため、検討の場を設ける等スタッフの関心・関与を引き出す

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



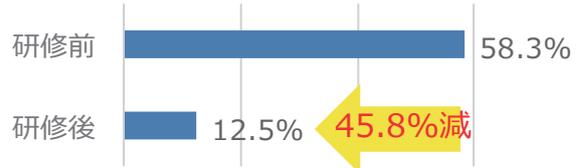
スタッフ同士が経験を共有する機会を作り、
チームとしてのノウハウ蓄積を促す

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



スタッフの理解度に応じて、
ケアの助言・指導を行う

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



実践力に関して



- ✓ 参加者それぞれの考え方や支援方法を確認でき、新たな気づきを得ることができた。
- ✓ 普段の自分の働きかけ方を客観的に捉えることができた。
- ✓ 講義と演習を通じて人の動きを学び、根拠に基づいた介助方法を説明できると自信がついた。



指導力に関して



- ✓ 研修で行ったグループワークを職場で行うなど、研修で得たものを継続し、スタッフに伝えていきたい。
- ✓ 自分なりの伝え方のベースができた。
- ✓ 伝え方のトレーニング方法やOJT実践書の様式を自分の職場にも取り入れたいと感じた。



マネジメント力に関して



- ✓ リーダーとしての引き出しを増やせた。
- ✓ 他施設のリーダーの意見を聞き、気持ちが楽になった。
- ✓ 行動プランを立て、実施することの繰り返し、これが続けていくのが大事だと思った。



研修の開催方法

- ◆ 研修ガイドラインを整備しており、各都道府県の介護福祉士会や関係団体が協働で実施することが可能です。



研修プログラム①（実践力&指導力の向上）

研修ガイドライン（実施要綱、カリキュラム、評価ツール）

<http://www.jaccw.or.jp/chosakenkyu/H30zyoseikinkatsudo.php>

※通信学習及び集合研修の教材の利用方法は事務局にお問い合わせ下さい。

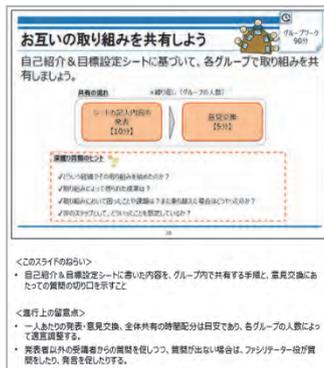
研修プログラム②（マネジメント力の向上）

研修ガイドライン（実施要綱やカリキュラム）及びテキスト

<http://www.jaccw.or.jp/chosakenkyu/H29zyoseikinkatsudo.php>

講師ガイダンス（イメージ）

「基本的動作・姿勢に関するケアの実践と指導方法」 演習用教材（イメージ）



- ◆ 「研修プログラム①実践力&指導力の向上」は、実践と指導を関連性を持たせて学べるよう、一体的なカリキュラムとなっています。ただし、開催日数などの都合により、実践力と指導力を分けて単体で開催することも可能です。
- ◆ 各都道府県が実施している人材育成等に取り組む介護事業者の認証評価制度では、評価項目の一例に「人材育成計画の策定と研修の実施」が掲げられています。都道府県全体での人材育成の推進にあたり、チームリーダー研修や認定介護福祉士養成研修をぜひご活用下さい。



お問い合わせ先



公益社団法人 日本介護福祉士会

The Japan Association of Certified Care Workers

公益社団法人日本介護福祉士会 事務局

TEL : 03-5615-9295 FAX : 03-5615-9296

MAIL : webmaster@jaccw.or.jp